



© David Lynch

... PHOTOGRAPHERS
... ARTISTS
AND THE SNAP CARDIGAN

2019 EXHIBITION

17 RUE DIEU, PARIS 10ÈME



«... des vêtements à marier
différemment que l'on peut porter du
matin au soir en les transformant. je
travaille longuement les coupes
et les détails, fais faire les
tissus, les imprimés (exclusifs) et
veille au toucher des matières.
J'ai toujours envie de faire plaisir
à ceux qui les porteront!»



«... clothes that you can play with easily...
clothes that you can wear day and night...
clothes you can dress up
and dress down. I work on shapes, details,
prints (always
exclusive), I am thinking about the feel
of fabrics. I always want to please people
wearing my designs!»

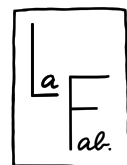


「色々な組み合わせができて、ドレスアップやカジュアルダウンすることで朝から夜まで着られる服...
私は、カッティングやディテールの追求に時間をかけ、生地やオリジナルプリントを作り、素材の手触りに気を配ります。私のデザインした服を着てくれる人たちに、いつも喜んでもらいたいから！」

agnès b.

the very first shop, 3 rue du Jour, Paris

1976!



OUVERTURE EN DÉCEMBRE 2019 !!

1, PLACE JEAN-MICHEL BASQUIA T, PARIS 13^e

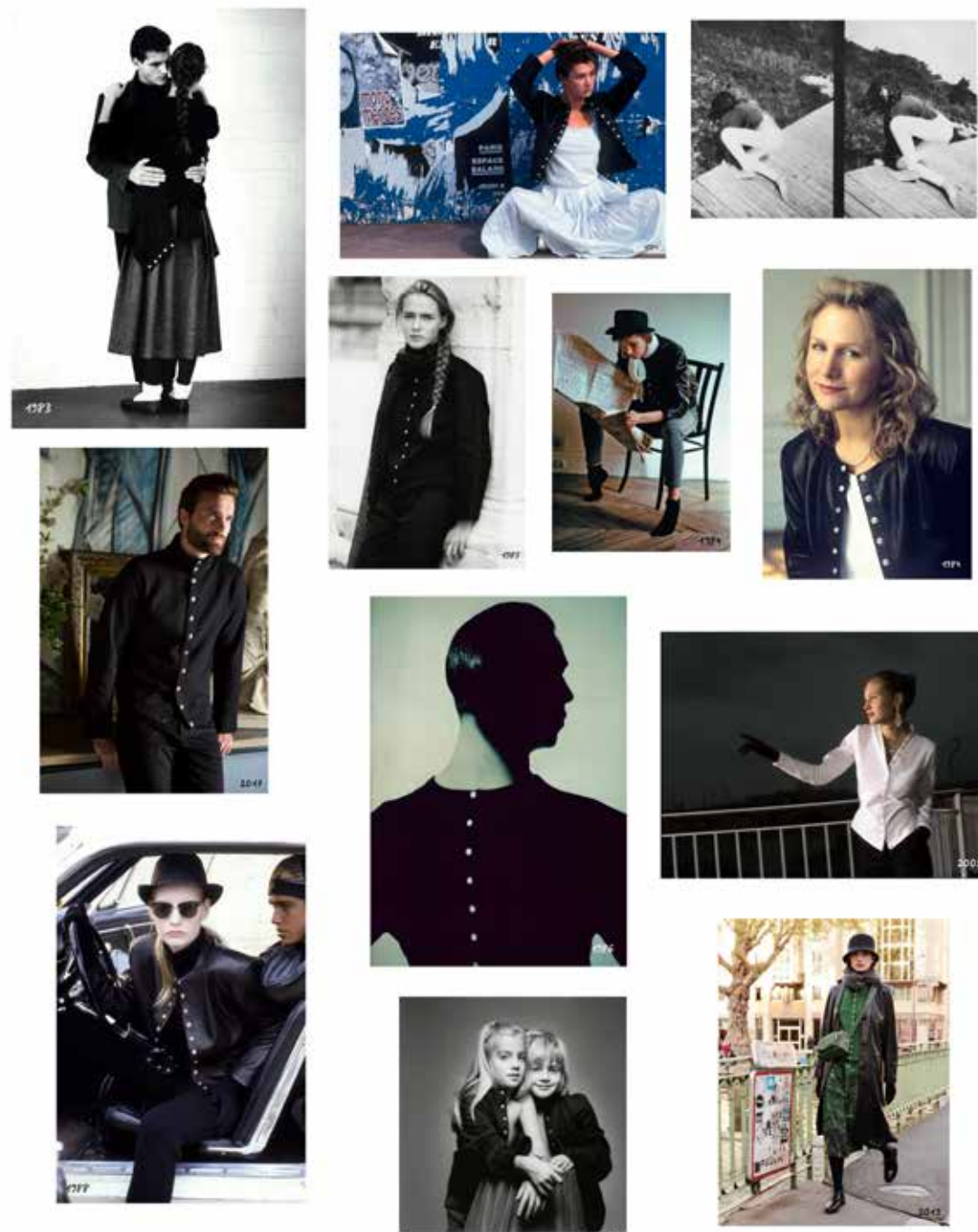
アニエスベーは、パリ 13 区のジェローム・クメ区長に会い、パリに新たな風を吹かせる 13 区を、文化複合施設 **LA FAB AGNÈS B.** 創設の場を選びました。SOA 建設事務所のオーギュスタン・ローゼンステール氏によって設計されたこの新築ビルは、公営住宅によって構成されており、建物内の 1400m²に及ぶ空間にてアニエスベーは 5000 点以上の作品コレクションからなる企画展を行います。また、**LA FAB AGNÈS B.** では、アニエスベーが 1984 年から運営してきたギャラリー デュ ジュールや書店もそのまま引き継ぎ、アニエスベーのチャリティ活動や社会活動、そして 16 年前からサポートしている科学探査船タラ号の最新情報も発信されます。**LA FAB AGNÈS B.** は 2019 年 12 月にグランドオープン予定です。

galeriedujour.com fondsagnesb.co taraexpeditions.org



© Christophe Wohlfahrt





le cardigan pressions
1979 → 2019

exhibitions

in Paris

the snap cardigan is 40 years old !!

アニエスベーのアイコンックアイテムのひとつ、カーディガンプレッションは2019年に誕生40周年を迎えます。1979年の誕生以来、カーディガンプレッションは、素材や形を変えて進化しながら、メンズ(オム)、レディス(ファム)、キッズ(アンファン)、ベビー(ベベ)まで世界中の様々な世代から愛されるタイムレスなロングセラーアイテムとなりました。

photobook

ファッション、アート、ライフスタイルのビジュアル本専門出版社として有名なASSOULINEからカーディガンプレッションの写真集が発売されました。

exhibition

« ... PHOTOGRAPHERS ... ARTISTS AND THE SNAP CARDIGAN »

カーディガンプレッションをテーマに、パリでは、映画監督のデヴィッド・リンチ等世界的に著名なクリエイターたちによる写真展が開催されました。

→ 2020 coming to *tokyo!*





RINKO KAWAUCHI

When I was seven.

11/sep/2019 - 20/oct/2019

on aime le cinéma!



©2019 3B-分福-MI MOVIES-FRANCE 3 CINEMA

原案・監督・脚本・編集：是枝裕和
出演：カトリーヌ・ドヌーヴ/ジュリエット・ピノシュ/イーサン・ホーク/リュディヴィーヌ・サニエ
撮影：エリック・ゴージェエ 配給：ギャガ ©2019 3B-分福-MI MOVIES-FRANCE 3 CINEMA
公式サイト：https://gaga.ne.jp/shinjitsu/ 全国公開中

HIROKAZU KOREEDA

真実

川内氏がポスター写真の撮影を手がけた、是枝裕和監督の最新映画【真実】が全国映画館にて公開中です。アニエスベー自身との親交も深い川内氏とは枝監督、先日はアニエスベー ギャラリー プティックにて2人のトークショーも実現しました。

2f
1f



exhibitions

in tokyo!

K-NARF

HATARAKIMONO PROJECT

30/mar/2019 - 5/may/2019



Weronika Gęsicka, Yhte, 2019. Courtesy of the artist and Jeleniska gallery

WERONIKA GĘSICKA

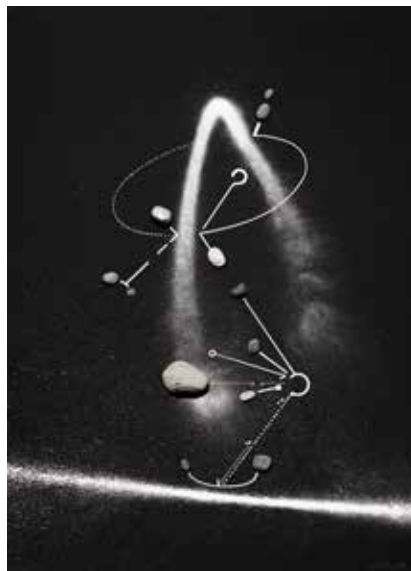
What a Wonderful World

11/sep/2019 - 15/oct/2019

HIRAKU SUZUKI

Silver Marker and some Stones

18/jan/2020 - 15/mar/2020



GOT IT FOR CHEAP

10/aug/2019 - 8/sep/2019



HIROMIX

the snap cardigan story

11/sep/2019 - 15/oct/2019

*agnès b.
galerie boutique
Tokyo*

agnès b. galerie boutique アニエスベー ギャラリー プティック

営業時間：13:30-18:30 (月曜定休)

住所：東京都港区南青山 5-7-25 ラ・フルール南青山 2F

電話：03-3406-6010



T-shirts d'artistes!



GILBERT & GEORGE

ギルバート & ジョージ

ギルバート & ジョージは 1968 年にロンドンのセント・マーチンズ・カレッジ・オブ・アートで出会って以来、片時も離れたことがない。このユニークな服装をしたエキセントリックなブリティッシュ・デュオは、世界中どこにいても注目を集める。2 人は作品の中に自分たちを「living sculpture (生きる彫刻)」として頻繁に登場させることで知られているが、色鮮やかな写真をベースとしたグラフィック・スタイルのアートがもっとも有名である。ギルバート & ジョージは、過去にも何度かアニエスベーのアーティスト T シャツコレクションのためにデザインを提供し、ボワンディロニーの合同出版にも 2 回参加している。2015 年 5 月にはニューヨーク近代美術館にて初期の作品の展示が行われた。



collector!
1997

BASQUIAT

バスキア

ジャン=ミシェル・バスキアは、ニューヨークのダウントウンアートシーンでもっとも多く作品を残した 1 人である。彼は身近にあるもの—スウェットシャツ、冷蔵庫、古い木の板—などをアートにしていた。1980 年、バスキアは「タイムズ・スクエア・ショー」に初めて出展し、翌 1981 年には P.S.1 現代アートセンターで行われたニューヨーク・ニューウェイブ展で主要アーティストに仲間入りした。彼はアンディ・ウォーホルと親密な関係にあり、1987 年のウォーホルの死はバスキアを精神的に打ちのめした。残りの人生はドラッグ中毒との闘いで、1988 年 27 歳の時に過剰摂取で亡くなった。彼と実際に会う機会のあったアニエスベーは、彼の作品をプライベートアートコレクションとして所有している。



collector!
2016

アニエスベーは彼女にとって大切な世界と、彼女の作るモードとの間に架け橋を作っています。アーティスト T シャツもそのひとつの例だといえるでしょう。アーティスト T シャツは各コレクションに合わせて作られるのではなく、完全に独立したラインとして存在しています。ロバート・フィリウ、ジョナス・メカス、マルティヌ・バラット、ギルバート & ジョージ、エルヴェ・ギベール、アンジュ・レッチア、クロード・レヴェック、ダグラス・ゴードンなど非常に著名なアーティストが参加したユニークなラインです。

アニエスベーは次のように述べています。「それはアート作品であると同時に、生活の一部となり、一緒に眠ったり、使い古すことでより愛着がわき、失くしたら、誰か他の人が見つけたりして、巡り巡って行きます。たとえそれ自体に大きな価値があるわけでもなく、自分にとって特別な意味をもつようになり、そこから深い愛着が生まれるのです。この T シャツは、作品や、アイディア、ジョークを表現したり、さらに自分自身を表明するための素晴らしい手段なのです。」



Rafael Gray



Franck André Jamme



Futura



Bertrand Loubé



François Prost



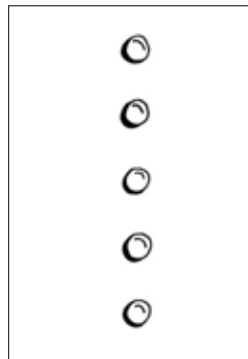
JONAS MEKAS



PP



Ash



Benoît Jammes



Malick Sidibé



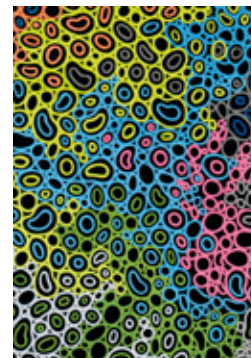
Lek & Sowat



Skewville



Flip Schulke



Ikon



Marcel Miracle



LOULOU PICASSO



 **EASTPAK**® pour *agnès b.*
MADE IN USA



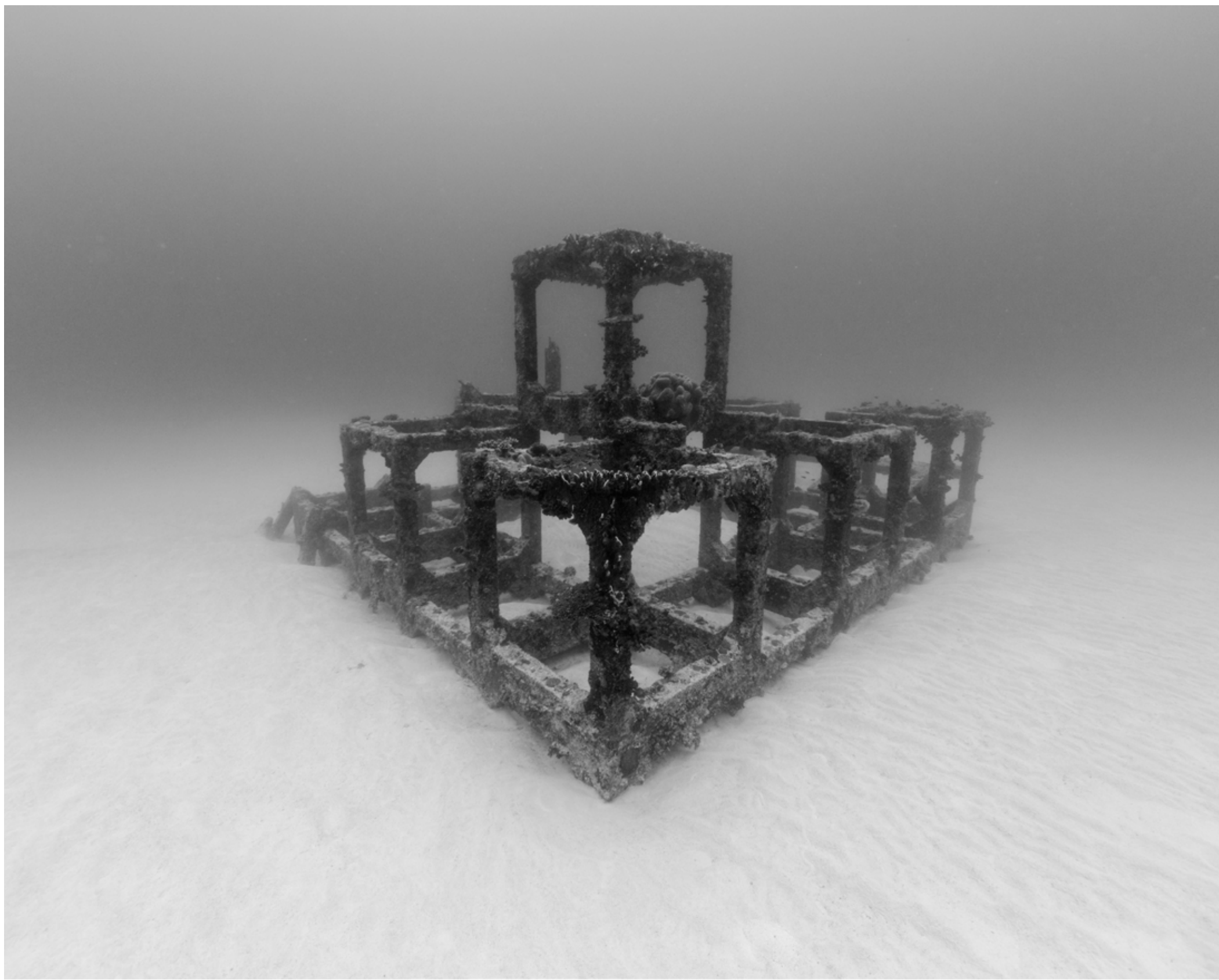
skeuville





agnès b
PARIS
artist's série







タラ号のメインスポンサーとして10年以上サポートし続けるアニエスベーは、多角的に環境問題に取り組んでいます。

環境汚染につながる様々な要因を改善するためのプロジェクトチーム「グリーンコミッティ」を社内に設置し、CO₂削減のためペーパーレス化や省エネルギー化を推進したり、現在、緊急性を要する問題として世界的に取り上げられている海洋プラスチックごみ削減のため、使い捨てプラスチックの使用を減らす等の企業努力を重ねています。

また、商品の生産過程においても環境に配慮した工程を取り入れるパートナー企業とサステナブルな観点でもビジネス展開を続けています。物事を進めるためには、個人的なイニシアティブを重ねることが必要だというデザイナーであるアニエスベーの確信のもと、今取り組むべき重要な出来事に人々の関心が向くよう、アニエスベーのブティックを通して発信し、チャリティ商品購入による寄付やエコバッグの使用促進など、誰もが参加できる環境保護活動の機会も創出しています。

今秋には、未来を担う子どもたちにタラ号の活動を紹介し、3R (Reduce/Reuse/Recycle) のために日々の生活で取り入れられるアクションを考えるワークショップを銀座Rue du Jour店、青山店、阪急うめだ本店で開催しました。



TARA Science × Art

アニエスベーが、今程環境問題が議論されていなかった10年以上前からサポートし続けている科学探査船タラ号は、世界中の海が直面する環境的脅威および気候変動による影響を調査しています。科学者や研究者のみならず、様々な分野のアーティストも乗船しており、タラ号乗船によりインスパイアされたアート作品を発表する事で、海の美しさや、儚さ、海洋生物の姿を、彼らの視点から伝え、私たち人間がこれからどのように生きていかなければならないかを問いかけてくれます。

© Sacha Bollet / Fondation Tara Océan

Fondation
tara océan
探 査 と 共 有

タラ号活動ご支援のお願い

国際的な科学研究機関と連動し、科学者や研究者、アーティストも乗せたタラ号の活動は、皆様からのご支援で成り立っています。私たちの呼吸に必要な酸素の半分以上を作っている海をより理解し、保護するための寄付金をタラ号公式サイトよりワンコイン（500 円）から受け付けています。皆さまからのご支援をお願いいたします。





瀬戸内国際芸術祭2019

Tara Océan 財団の日本事務局である、一般社団法人 TARA JAPAN は、香川県三豊市と共同で、瀬戸内国際芸術祭 2019 の秋会期（9 月 28 日 - 11 月 4 日）に、栗島海洋記念館で TARA 展を開催しました。科学探査船タラ号の活動を紹介する展示や、タラ号乗船アーティストでもある、日比野克彦氏、大小島真木氏、ニコラ・フロック氏の作品をはじめとした、タラ号にまつわる様々な作品を展示。タラ号を類似体験した観覧者は海洋への理解を深めます。

Nicolas Floc'h

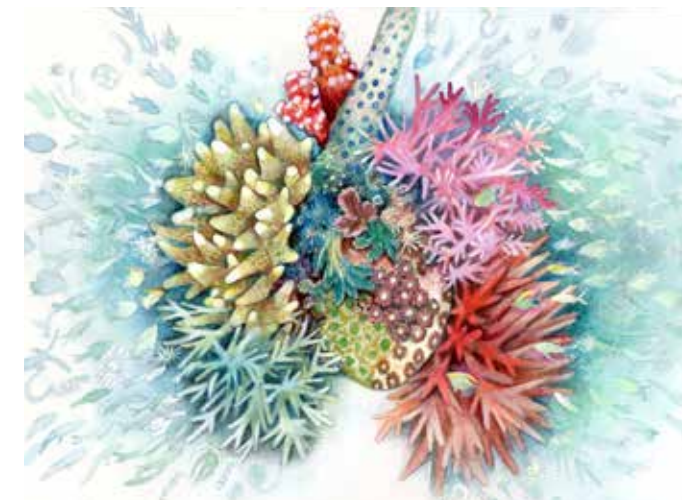
ニコラ・フロック氏は、フランスのブルターニュ地方レンヌで生まれ、現在は、パリを拠点に活動しているアーティストです。植物プランクトンの一種である「Coccolithophorid / 円石藻」を再現した作品である「Coccolithophorhat/ コッコリトフォーハット」は（写真左）、海への敬意と感謝を表すと同時に気候変動の脅威に立ち向かい、一人一人が行動するための環境保全のシンボルとして制作されました。秋会期開幕日には、芸術祭参加アーティストや島の住民達が、この作品を神輿に見立てて担いで栗島を練り歩き、海へのオマージュを捧げました。



Maki Ohkojima

アーティストインレジデンスの一人としてグアムから横浜までタラ号に乗船した日本人アーティストの大小島真木氏。彼女はタラ号の乗船中に会った白い鯨との体験を "海、生命のスープ" という考えで表現し、海無しには生きていけない人類、人間と自然との共生についての物語を作品を通して語りかけています。

"Eye of whale" Year2018 @ Maki Ohkojima
in Aquarium de Paris, France,
Photo by Serge Koutchinsky



"Coral heart" Year 2017 @Maki Ohkojima

→ 2020

第10回円空大賞展

これまでの科学とアートを融合したタラ号の活動が、「説法だけでなく仏像を制作することを通して、願いを発信し続けた円空の生き方に通じる」と評価され、第10回円空大賞を受賞しました。2020年1月30日から岐阜県美術館において開催される「第10回円空大賞展」において、タラ号の活動記録や、関連アーティストの作品が展示されます。





le point d'ironie

ポワンディロニー

1997年5月より：
ジョナス・メカス
レイモン・アンス
ギルバート&ジョージ
トーマス・ヒルシュホルン
ヨナ・フリードマン
ダグラス・ゴードン
マシュー・バーニー
アネット・メサジェ
クリスチャン・ボルタンスキー
エドゥアール・グリュッサン
クロード・レヴェック
クロード・クロスキー
オノ・ヨーコ
マーティン・パー
ポール＝アルマン・ジェット
ハーモニー・コリン
アントワネット・オハネシアン&トニ・ネグリ
ルイズ・ブルジョワ
フレデリック・ブリュリー＝ブアブレ
ロニー・ホーン
リチャード・ピリンガム
ジョン・ジョルノ&ウーゴ・ロンディノーネ
ライアン・マクギネス
リチャード・プリンス
ダミアン・ハースト
トビアス・ブッヘ
レイン・フィルドフィンソン
ユーグ・レブ&メラニー・カウセル
ロバート・クラム
カルロス・クルズ＝ディエズ
クー・チョン・ア
ヴァリド・ラード
ライアン・マッギンリー
ステファン・ヘッセル&パスカル・ルメートル
クリスチャン・ボルタンスキー
ビエール・レイメール
ダヤニタ・シン
エテル・アドナン
タラ・オーシャンズ
ピーター・ランボーン・ウィルソン
ビエール・アンリ
シマブク
ロバート・バリー
アニエス・ヴァルダ
グスタフ・メッツガー
レイモンド・ベティボン&マルセル・ザマ
ジョン・ジョルノ
ロマン・シグネール
ビエール・アルシンスキー

年に数回、不定期でアニエスパーとハンス＝ウルリッヒ・オブリストに白紙委任状を与えられたアーティストが紙面を自由に使います。ポワンディロニーは比類なき存在で、それが何であるのか分からないまま通り過ぎる人もいれば、それだけを求めて店舗を訪れる人もいます。

8ページ構成のタブロイド形式で、そのフォーマットは参加アーティストに関わらず統一されています。繰り返しと差異。ポワンディロニーは、芸術に関する情報誌ではありません。アーティストや建築家、映画監督、ミュージシャン、写真家、作家など、各方面で活躍するアーティストによって毎号作り出されています。

10～30万部が世界中の様々な場所（ブックストア、美術館、ギャラリー、学校、カフェなど）やアニエスパーの（フランス、ヨーロッパ、米国、アジアにある）全ての店舗、ギャラリー、およびライブラリーにて無料で入手できます。

ポワンディロニーという名前は、幻想作家アルカントール・ド・ブラームが19世紀末に発明した、テキストの中の皮肉めいた箇所を示すために文の終わりに用いられる句読点（びっくりマークやクエスチョンマークなど）に由来しています。

！ アニエスパー、クリスチャン・ボルタンスキー、ハンス＝ウルリッヒ・オブリストとの話し合いから生まれまし

on aime
la musique !!

"音楽が大好き!!"

アニエスベーのクリエイションにおいて、音楽は重要なインスピレーション源でアニエスベーの世界にとって欠かせないものです。デヴィッド・ボウイやパティ・スミスなどのロックスターから、フレンチポップ界やヒップホップの若手ラッパーまでアニエスベーの交友関係は幅広く、それらミュージシャンたちへの衣装提供はもとよりコラボレーションも数多く手がけています。

Young Juvenile Youth

DIALOGUE



Young Juvenile Yout はボーカルの " ゆう姫 (Yuki)" とトラックメーカーの "JEMAPUR" によるユニットで、アンダーグラウンドミュージックシーンで独自のスタンスを確立しており、ヨーロッパやアジア圏で高い評価を得ています。記憶に新しい昨年の agnès b. RADIO CP の際に青山店で開催したインスタライブ・トークショーへの出演等やパリコレへの来場など、アニエスベーとも関わりの深いアーティストです。

2019 年 7 月に発売した新作 EP "DIALOGUE" の 12inch レコードがアニエスベーと音楽レーベル "Matte and glass" とのコラボ企画として限定発売されました。

JAIN



アニエスベーはデビュー以来、衣装協力などサポートを続けるフレンチシンガー Jain が今年、SUMMER SONIC 2019 に初出演を果たしました。2019 年春夏コレクションで発表された、コラボレーションアイテムの発売にあわせて Jain が来日した際には、アニエスベー青山店でインスタミニライブと Young Juvenile Youth のゆう姫とのトークイベントも開催しました。

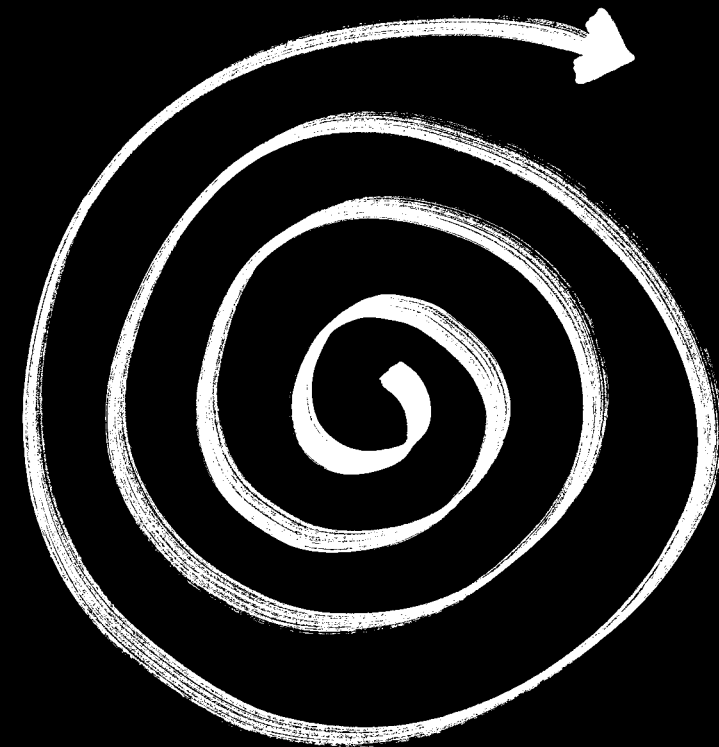
フランス生まれ、ドバイ、アブダビ、コンゴ育ちの 26 歳。国際色豊かな感性をバリのアートスクールで更に磨きをかけ、フレンチ・テクノやアラビアン・ビート、アフリカン・リズム等彼女ならではの音楽的影響と絶妙に癖になるメロディが特徴的なポップ・ソングで全世界を魅了中です。

Pritchard & Lo



アニエスベーは、英国のシンガーソングライター Bill Pritchard(ビル・プリチャード)や、フランスのシンガーソングライター Frédéric Lo(フレデリック・ロー)など多くの名声あるヨーロッパのミュージシャンたちの作品を編集した、45 回転盤レコードシリーズ "Pritchard & Lo" を限定でリリースしました。"Digging for diamonds" はサイド A に収録されており、Bill Pritchard と Frédéric Lo によって書かれた、逆境のなかで見出された希望を歌った、素晴らしいトラックです。サイド B には、Bill 自身がお気に入りだった "Magic Mountain" も収録。このレコードの音楽は WEB ラジオの『agnès b. RADIO』で流れています。

agnès b.



RADIO

agnesb.co.jp/radio



AGNÈS B. RADIO

アニエスベー公式サイトではアニエスベーがセレクトした多ジャンルにわたる音楽を聴くことができる『agnès b. RADIO』が 2018 年秋よりローンチし、より多くのアニエスベーの音楽が発信されています。その世界観を表現するロゴにはアニエスベーからの "osez!" (挑戦!) 「自由な自分であることへの挑戦を!!」というメッセージが。

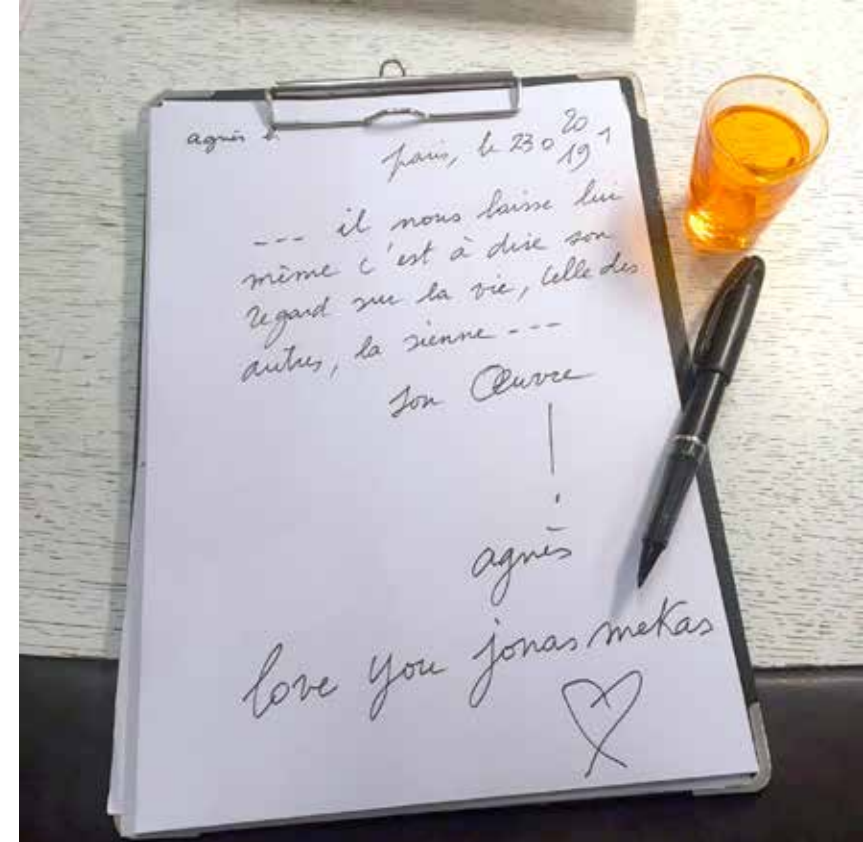


agnesb.co.jp/radio



Keep dancing,
Keep singing
have a good
drink and do not
get too serious!
OK?
Jonas

... he leaves himself to us, that is to say
his eye on life,
that of others, his own... his work



アニエスバーとジョナス・メカス

T-shirts d'artistes!



今年逝去したアーティスト、ジョナス・メカスへのオマージュとして、
ジョナス・メカス直筆のメッセージ"KEEP SINGING"をプリントした
アーティストTシャツ。



personal vision of the "Point d'Ironie" by Jen-cri

agnès b. Japan Inc.

issue on novembre 2019